

進路だより ③



今市特別支援学校進路指導部 令和3(2021)年9月30日発行

保護者施設等説明会

8月3日(火)に本校体育館にて、鹿沼市の施設説明会を実施しました。本来は保護者の皆様が施設において見学をしていただく予定でしたが、新型コロナウイルス感染症の感染防止対策の観点から、本校を会場としての実施となりました。また、日光市の施設説明会も予定していましたが、台風や感染症拡大のため実施ができませんでした。

今回の説明会では、鹿沼市にある以下の4カ所の施設に来校していただき、生活の流れや作業の様子、利用までの手続きなどについて写真や映像を交えながら丁寧に分かりやすく説明をしていただきました。保護者の皆様も、真剣に話に耳を傾け質問をされている方もいらっしゃいました。これからの進路や社会生活を考える上で参考にいただければと思います。今回は参加できなかった保護者の皆様も、気になる施設がありましたら担任を通してお問い合わせください。

また、説明の中でも見学についてお話がありましたが、**見学を希望する場合は、学校を通して施設に連絡をいたしますので、担任にご相談ください。**感染状況等も踏まえて、見学の日程を調整いたします。

- ・(有)カネヒロ 就労継続支援A型ミソラ
就労継続支援B型AQUA
- ・社会福祉法人 東京愛隣会 鹿沼愛隣福祉センター
- ・ミンナのミカタぐる一歩 就労継続支援A型(株)ミンナのミライ
就労継続支援B型(株)ミンナのナカマ
- ・社会福祉法人 希望の家 武子希望の家



小学部

「進路指導は小学部から始まっています。」という言葉に耳にしたことはありませんか？小学部は生活に関わる基礎的スキル獲得の時期です。日々の生活の全てが「自立と社会参加」につながることを念頭に置き、『身の回りのことや人との関わりなど、生活に必要な学習や経験を通して、基礎的な力を身に付け「できること」を増やしていく。』ことを目標として日々の学習に取り組んでいます。

今回は、「働く力」や「生活する力」の基礎となる手伝いについて、小学部の子どもたちが夏休みにどんな手伝いに取り組んだのか紹介します。

食事の準備・片付け (はし並べ、食器運び)	カーテン開閉	ごみ出し	電気の点け消し 風呂のお湯張り
洗濯物干し、取り込み、畳み	テーブル拭き・床拭き	花の水やり	風呂掃除
服や持ち物の準備	トイレ掃除	食器洗い	
買った物を冷蔵庫に入れる	床掃除	布団畳み	荷物持ち

児童の実態や興味・関心に応じて様々な手伝いをしていたようです。

手伝いを通して、自分の役割を果たし、周りの人の役に立つという経験を積むことで、やり遂げた達成感や褒められてうれしいなどの自己有用感が得られ、働く意欲を育てます。また、毎日続けることで、働く習慣を身に付けることができ、中学部の作業学習へとつながります。

児童が手伝いを継続するためには、家族からの感謝の気持ちや言葉が大切です。

「ありがとう。」「助かったよ。」など意識して伝えてあげてください。

中学部

中学部では、進路に関わる学習や将来の自立に向けた学習として、「職業・家庭」の授業の中で様々な学習を行っています。

今回はその中からいくつかの学習について御紹介します。

1年生は清掃についての学習に取り組んでいます。清掃用具の使い方や清掃の手順について、学部共通の手順表を参考にしながら学習を進めています。清掃は高等部や卒業後の進路先、家庭生活においても取り組む機会の多い活動となります。しっかり身に付けられるよう手順表に沿って教室や分担区（トイレ、廊下など）を清掃する実践を繰り返しています。

2年生は、一学期、洗濯機の使い方について学習しました。洗濯機操作の手順表を作り、それを見ながら洗濯機を操作して洗濯をするということを数回繰り返すことで、一人で洗濯機を操作することができるようになりました。生徒達からは、「自分で洗濯できる。」という声も聞かれ、とても自信をもった様子が見られました。

3年生は、2学期末に実施を予定している社会体験学習の体験希望先を決めました。どのような仕事があるのかを調べ、将来の自分をイメージして、どのような仕事を行ってみたいかなどを考えました。今後は、事前学習で体験先の場所を調べたり、仕事内容について知ったりする学習を行い、体験後は、振り返り学習を行う予定です。



高等部

夏休み初日の7月21日（水）に、高等部2年生を対象とした「進路相談会」を開催しました。初めて外部関係機関の方との面接会ということもあり、「職業」の時間に入室や退室の仕方、自己紹介やお辞儀の仕方など一人一人繰り返し練習をしました。

「進路相談会」は生徒の居住地域の福祉・就労関係機関（市町障害福祉担当、相談支援センター担当、公共職業安定所担当、障害者就業・生活支援センター担当等）と学校、生徒及び保護者が卒業後の進路や生活について情報交換を行うことを目的として開催しています。

生徒は緊張しながらも練習してきた自己紹介を行い、保護者の方にも続いて自己紹介をしていただきました。卒業後にお世話になる関係機関と顔合わせや情報交換ができたことで、卒業後の進路をさらに意識できたのではないかと思います。また、生徒の状況について理解を得、お子様に適した進路選択等について助言をいただいたことで今後の見通しも持つことができたのではないのでしょうか。

お子様の進路について、より適した進路について考えたり、御家族の考えを関係機関に伝えるためにも、普段からお子様や家族と話をしたり、個人懇談の際に担任等と話をしたりしておくことが大切です。

進路を決定するまでの学校の役割は、そのときのお子様の実態等を適切に把握し、お子様と保護者がよりよい進路先を選定できるように情報提供を行うことです。**進路先を決定する主体はあくまでも、お子様と保護者の皆様です。学校から直接福祉施設や就職先を斡旋することはありません。**より早い時期から卒業後の進路や生活について意識していただければと思います。また、進路だよりを読んでいただいたり、オープンスクールで上の学部の参観をしたりするなど、主体的に進路に関する情報収集を行っていただくようお願いいたします。

